

朝鮮半島をめぐる国際関係と日米中韓

静岡県立大学 現代韓国朝鮮研究センター

奥菌秀樹

1. 朝鮮半島の対立構造

- (1) 当事者間対立と陣営間対立
- (2) 対立構造のバランス崩壊と北朝鮮の瀬戸際政策
- (3) 北朝鮮の核をめぐる合意と挫折
- (4) “核戦力の完成”と新たなステージに入った「北核問題」

2. 「北核問題」と文在寅政権

- (1) 軍事衝突の回避
- (2) 「対話の為の圧力」
- (3) 当事者としての韓国と「運転席論」
- (4) 「ろうそく政権」と対北融和政策

3. 北朝鮮の国家戦略と政策転換

- (1) 国家核戦力の完成と条件付きの“非核化”の意志表明
- (2) 南北協議の思惑…“米国を動かす為の韓国”と民族意識刺激
- (3) 米朝首脳会談提起の思惑…モード転換
- (4) 「非核化」と「体制の安全の保障」

4. 米国にとっての「北朝鮮問題」とトランプ政権

- (1) 核拡散防止
- (2) ICBMの脅威
- (3) 「最大限の圧力と関与」
- (4) 米国第一主義と試される日米韓連携

5. 日本にとっての「北朝鮮問題」と安倍政権

- (1) 北朝鮮の非核化とCVID
- (2) 「国難」と“圧力による変化”主導
- (3) 韓国主導への警戒感と“見捨てられの不安”
- (4) 拉致問題置き去りの恐れ

6. 中国にとっての「北朝鮮問題」と米中関係

- (1) 朝鮮半島を舞台とする米中関係
- (2) 「北核問題」の対話による解決
- (3) 米朝直接協議と中国の立場
- (4) 米中関係と中国の「北朝鮮カード」

7. 今後の展望